

| 学校教育目標 | | 重点目標（中・長期的目標） | 総合評価 | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|--|
| 憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 家庭・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。 | | 1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を發揮できるよう努力する。 | | | | | |
| 今年度目標 | | 中間評価 | 成果と課題 | A | B | C | 改善策・向上策 |
| (1)個々の生徒の進路実現をめざし、学力の伸長をはかる。 | | ・本年度各分掌等で計画されたものは、予定通り実施され、生徒の積極的な姿勢も垣間見られる。 | ・進路指導係を中心に、学年や教科で生徒一人一人の希望や適性にあった進路指導や学力の伸長を目指した実践ができた。 | | ○ | | ・生徒の状況をよりの確に把握する。 ・社会や世界の情勢を理解させ、早い段階から生徒に方向付けを行いたい。 |
| (2)基本的な生活習慣の確立をはかり、様々な活動に積極的に参加する自主性を伸ばす。 | | ・挨拶をする生徒が多い、更に多くしたい。 ・身だしなみ指導も定期的に行い、ほとんどの生徒は身だしなみについて問題はない。一部不十分の生徒がいる。 ・生徒も職員も文化祭や強歩大会・クラスマッチ等の行事に積極的に参加している。 | ・基本的な生活習慣の確立が、学力向上や進路実現に直結することを改めて意識させたい。 ・クラブ指導などを通して、生徒の自主性の伸長が図られている。 | | ○ | | ・生徒が日々の「当たり前」と思われることをできるように指導する。 ・生徒との対話を通して、生徒が自分なりに考え判断する契機や機会を増やす。 |
| (3)より開かれた学校をめざし、家庭・地域との連携を強め、その実現をはかる。 | | ・学校評議員・P T A・同窓会・地域の方々への声を傾けている。 | ・H R、学年、P T Aの行事を通して、保護者や家庭との連携が強くなっている。 | | ○ | | ・P T A活動への参加者を多くする。 ・生徒会活動の活性化 |

| 領域 | 対象 | 評価項目 | 評価の観点 | 中間評価 | 成果と課題 | A | B | C | 改善策・向上策 |
|------|--------------|---|--|--|---|---|---|--|---|
| 教育活動 | 教育課程 | (1)来年度より完全実施の新学習指導要領に基づく教育課程の編成を行う。 (2)現1・2年生の教育課程の改訂を行う。 | (1)入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に即した教育課程を編成できたか。 (2)オープンな議論の下で、教育課程編成ができたか。 | ・入試動向については、まだ未確定部分があるため、今後の状況に応じ臨機応変に対応する。 | ・入試動向は未確定な部分が多く、随時その見極めが必要となる。 | | ○ | | ・現1学年については、3年次科目選択開始までの段階での入試動向により、必要に応じ教育課程表の変更を行う。 |
| | 進路指導 | (1)生徒、保護者が納得する進路実現を目指す。 (2)早い時期からの進路意識の向上を図る。 | (1)生徒、保護者が望む進路を実現できたか。 (2)各学年に適した進路指導ができたか。 | ・キャリア教育の観点から進路指導を捉えなおす必要を感じている。進路実現を保障する指導の充実ともまた従来からの教育活動の再編成、新規立ち上げ、見直しを急いでいる。 | ・全校、あるいは各学年でキャリア教育について具体的な取り組みに着手し、一定の成果を達成した。さらに、キャリア教育の観点から、「基礎的・汎用的能力」を踏まえた3年間のグランドデザイン構築を進める必要がある。また、進路指導に伴う職員への情報発信と情報共有、進路通信「羅針盤」を通して生徒への情報提供を充実させた。 | ○ | | ・進路保障の充実に加え、学力保障を充実させる方向への指導方針の変化が求められている。進学においても就職においても本質的な学力が問われている。生徒が学習意欲を高めるための仕掛けを工夫したい。 | |
| | 人権平和教育 | 人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現をめざす生徒の育成を図る。 | (1)人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2)内容は適切であったか。 (3)各学年、係等との連携が図れたか。 | ・映画鑑賞会を計画通り実行し、感想文の回収と、冊子によるまとめ作業に入っている。 | ・10月の映画会では、生徒間のモラルの問題等を広い意味で、考えさせる事ができた。 ・5月憲法学習、12月の太平洋戦争開戦に関する学習は、資料の量がおおかった。 | | ○ | | ・時期を含め、早い時期に検討が必要である。 |
| | 図書 | (1)楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。 (2)教科や係の必要とする資料やサービスが提供できたか。 | (1)図書館から新着図書紹介などの情報が発信できたか。 (2)図書や係の必要とする資料やサービスが提供できたか。 | ・全校一斉の朝の読書が開始され、図書への貸し出し数は増加した。今後、さらに読書への関心を高める努力をしていきたい。 | ・全校一斉の朝の読書の開始により図書への貸し出し数は増加した。また、朝の読書用のクラス図書選定や、ライブラリニュースの発行を通して読書への関心を高めることができた。 | | ○ | | ・図書委員会の活動をもっと活発にし、読書への関心さらに高める手立てを考えたい。 |
| | 視聴覚 | (1)芸術鑑賞を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2)情報モラル教育を推進する。 | (1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2)教科や特別活動を通して、情報モラル教育を推進できたか。 | ・マナーについては、概ね良好であった。来年度は音楽鑑賞のみ予定である。情報モラル教育については、今後も継続的に指導を行う必要がある。 | ・施設・設備間の老朽化により、機器更新を適宜行う必要があるが、予算的な制約があるため、十分な更新ができない。 | | ○ | | ・築50年近い校舎でもあり、県の予算配当に期待する。 |
| | 生徒指導 | (1)頭髪など身だしなみへの取り組み・挨拶の励行・公共のマナーへの関心を高める。 (2)学習環境の整備(清掃)の徹底(不要物撤去) (3)安全で安心できる学校生活を推進する。 | (1)頭髪・服装等身なりを質素にし、マナーや規則を守ることへの適切な指導ができたか。 (2)学習環境の整備に向けて取り組むことができたか。 | ・クラス担任・学年と連携を図り、定期的に注意喚起を行い、生徒が安心且つ安全に様々な活動ができるよう継続した指導を行っている。 | ・些細な問題行動についてもクラス担任及び係の調話を通じて全校生徒に注意徹底を図るよう努めてきた。前年度からの重点項目である身だしなみについては、定期的に検査を実施し、保護者の理解を得ながら進めることができた。今後も生徒が安心して学校生活を送れるよう、さらには社会で通用するマナーを身につけることを目標に職員一丸となって指導に当たる必要がある。 | | ○ | | ・今後クラス担任、学年との連携を保ちつつ生徒、職員が安全、安心して様々な活動に専念できるよう努めていきたい。 |
| | 教育相談 | (1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (3)関係職員や保護者への支援体制を作る。 | (1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としっかり連携がとれたか。 (2)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (3)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。 | ・本年度は例年に比べ継続的にカウンセリングを受けている生徒が多い。学年や担任との連携をとるなか、心の問題を抱えている生徒を早期にみつつけ支援・対応を今後も行っていく。 | ・本年度は例年に比べ継続的にカウンセリングを受ける生徒、回数も例年に比べ増加した。スクールカウンセラーと連携を取る中、支援・対応にあたった。また、必要に応じて係が生徒、保護者の相談に対応した。 (2) 学年会との連携により、生徒の状況の把握を行うことができた。 (3) スクールカウンセラーの意見も参考にすると、連携した生徒支援が行えた。 | | ○ | | ・今後も、問題を抱える生徒の状況の把握を早めにより、早めの対応に心がけた。 |
| | 生徒会 | (1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3)地域やP T Aとの交流の機会を積極的にもちつことができた。 | (1)生徒会活動を通じて成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率、および活動実態はどうであったか。 (3)地域やP T Aとの交流の機会を積極的にもちつことができたか。 | (1)生徒会役員に活動の内容や機会が集中しており、役員とそれ以外の生徒とで成長の差も顕著にみられる。 (2)クラブ加入率、活動実態は例年並みである。 (3)地域でのボランティア活動を行うことができた。 | ・全評価項目について例年並みの成果が得られた。 ・生徒が自主的に、より質の高い活動を行えるよう指導助言を行うとともに、そのための環境作りを行う必要がある。 | | ○ | | ・生徒会活動が安定して行なえるための会則等の整備とリーダーの育成。 ・より多くの生徒が生徒会活動に加わることができるような雰囲気作りと広報活動、および分判割の工夫。 |
| | 美化 | 校舎内外の美化に取り組み、学習しやすい環境を整える。 | 日々の清掃活動およびゴミの分別がきちんとできたか。 | ・計画どおり活動できている。教室のワックスがけや廊下磨きについて、随時進めたい。 | ・計画通りに活動できた。教室や廊下のワックスがけを実施した。 | | ○ | | ・ゴミの総量を減らす工夫が必要である。(カップ麺持込禁止など) |
| | 保健 | (1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。 | (1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。 | ・職員対象の健康に関する研修の実施、職員・生徒に向けた定期的な保健だよりの配布を行った。 | ・クラス担任の協力により(1)(2)とも実施できた。特に感染予防について積極的に対応できた。 | | ○ | | ・生活習慣の確立 |
| 教務 | 庶務 | 本校教育活動の円滑な運営。 | (1)各種行事の効率的な運営と改善。 (2)各部、係、学年、教科との密な連絡調整。 | (1)係内の密な打合せと来年度に向けた反省を行っている。 (2)必要に応じた連絡調整を行った。 | (1)「朝の読書」が定着しつつある。 (2)当初の副会、で「通理」を活用して各係などの予定を確認することができた。課題としては、各学年の動きを把握し切れなかったことがあげられる。 (3)必要に応じた連絡調整を行った。 | ○ | | (2)係として、各学年との連絡を密にすることで、職員間のコミュニケーションをさらに図る。 | |
| | 広報・情報 | (1)魅力ある赤穂高校のP R。 (2)校内ネットワークの安全かつ効率的な運用。 | (1)H P、学校案内等で赤穂高校の魅力が伝わったか。 (2)校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか。 | (1)H Pアップでは、きめ細かな情報提供に努めた。 (2)バックアップ体制の確立が求められる。 | (1)随時赤穂高校の情報を発信できた。アクセスも1日100から150アクセスに向上した。 (2)LANサーバーを更新したがセキュリティ面で不十分な面が残る。段階的に解決したい。 | | ○ | (1)随時学校の情報発信を続け、さらにアクセス数を伸ばす。 (2)校内LANのセキュリティ向上を推進する。 | |
| | 防災 | 防災意識を高め、緊急時に備える。 | 防災意識を高められたか。 | ・折に触れ防災意識の高揚に努めた。 | 避難訓練当日は強風の為に消火訓練は中止したが、迫り来る自然災害に向けて意識の高揚をはかることができた。 | | ○ | | 避難訓練は避難そのものものを絞ったものにするために搬出等の打ち合わせは創案していきたい。 |
| 学校運営 | 予算施設 | (1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。 | (1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。 | (1)予算額が年々減少しているが、必要かつ適正に執行されている。 | (1)(2)共に、適正に執行することができた。 | | ○ | | ・減少する予算の中で、予算に応じて適正に執行が行われ、校内施設の整備・修理が安全面も含め効果的に行われていくようにしていく。 |
| | 学校運営検討 | 学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。 | 学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。 | ・学校運営に関して情報収集に努めている。 | ・本年度は委員会を開いて検討するような学校運営上の問題はなかった。 | | ○ | | ・職員間で改善点や要望を言いやすい雰囲気作りを目指したい。 ・地域や世論の動向にも関心を持ち続けたい。 |
| | P T A | P T A活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進 | P T A活動が円滑に行われ、多くの保護者が参加し、子ども・学校と関わりを持つことが出来たか。 | ・総会が平日の開催にかかわらず多くの保護者に出席していただき盛況に出来た。各行事も円滑に行われた。 | ・各行事に多くの保護者の方が参加いただき、無事運営ができた。活動のまとめについても、評議員会で話し合いができた。 | | ○ | | ・活動のまとめについては、来年度は、評議員会・役員会・役員引継ぎ会の順番で行いたい。 |
| | 同窓会 | 同窓会の円滑な運営 | 同窓会活動が活発に行われより取り組むことができたか。 | ・同窓会として母校に対し、継続的支援を行っている。 | ・母校への継続的支援ができた。 | | ○ | | ・今後も継続的に可能な限り母校への支援を行って行きたい。 |
| | 学校評議員会運営 | 学校評議員会からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。 | 学校評議員会からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。 | ・学校評議員会で話しあった点を参考にして学校運営に生かそうとしている。 | ・学校評議員の方々から、様々な意見をいただき、学校運営等の参考にさせていただいた。 | | ○ | | ・今後も学校評議員の方々の意見や要望を真摯に受け止め、学校運営等に活かす |
| | 安全衛生 | 教職員の健康管理の推進を図る。 | 全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。 | ・職員健康診断は10月29日に実施予定。 | ・健康に関する意識を高めたり、人間ドック受診に向けて、継続的な呼びかけやチラシ配布を実施した。 ・職員全体に対して、また職員個人個人に対して、きめ細かな対応を行った。 | | ○ | | ・引き続き職員一人一人の健康管理や学校全体の安全衛生管理について、的確な対応や呼びかけをしていきたい。 |
| 修学旅行 | 適正な修学旅行をめざす。 | (1)適正な価格であったか。 (2)学習効果のある修学旅行であったか。 | ・業者選定にあたりプレゼンテーションを実施。行き先・日程・費用等について検討している。 | ・該当学年と相談して、適正な修学旅行計画を作成できた。 | | ○ | | ・行き先、費用、学習効果などについて、今後も継続し手検討を重ねる。 | |